

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	生活環境美化推進事業			事業番号	26-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	辻 雅弘	環境美化センター	石田 康弘	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり	
		施策展開の方向	1	愛着のある美しいまちをつくる	
		施策	26	生活環境美化の推進	
予算事業名	生活環境美化推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	義務づけ規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	-
関連法令等	伊勢原市ごみ処理等の適正化及びポイ捨て等の防止に関する条例・廃棄物の処理及び清掃に関する法律・神奈川県動物の愛護及び管理に関する条例等				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	-			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	公園、広場、道路、河川等の公共の場所や他人の土地において、ごみのポイ捨てやたばこの吸殻、犬の糞の放置などが見受けられ、生活環境の悪化が懸念されているため、条例を整備し、市民のルールやマナーの啓発と意識の高揚を図る必要がありました。				
目的 (何をどうしたいのか)	本市の生活環境美化推進のために、市民のルール・マナーの啓発と意識高揚に向け、条例等を整備し、ごみの散乱の抑止に取り組みます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	地域住民				
事業内容 (手段、手法など)	・廃棄物減量等推進員(衛生委員)と連携し、各地域のパトロールを強化するとともに、看板やチラシ等により、ゴミ散乱等の防止に関する周知や意識啓発を図ります。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	ごみ散乱等の啓発及び防止パトロール	継続実施	継続実施		
	衛生委員会会議の開催	開催	開催		
	ポイ捨て禁止等看板の設置	設置	設置		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	ごみ散乱防止等の啓発及びパトロール回数	2回	4回	4回	

 事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	引き続き、ごみ散乱防止パトロールを定期的実施し、また不適持出等の悪質な事案については、個別指導に入るなど、地域の環境改善に努めていきます。また、集積所や不法投棄の多い場所に、監視カメラ等を設置し、その効果を検証していきます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	ごみ散乱等の啓発及び防止パトロール	継続実施	継続実施
	衛生委員会会議の開催	開催	開催
	ポイ捨て禁止等看板の設置	設置	設置
実施した取組の内容	ポイ捨て防止等パトロール活動:4回		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	ごみ散乱防止等の啓発及びパトロール回数	2回	4回
			29年度

	年度		28年度 実績				29年度 実績				
内訳	事業費合計 (a)		866		千円		833		千円		
	内訳	国県支出金 ①		0		千円		0		千円	
		地方債 ②		0		千円		0		千円	
		その他特財 ③		0		千円		0		千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		866		千円		833		千円	
国県支出金の内容											
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期						
		その他									
人件費	正規職員		0.30	人	2,595	千円	0.30	人	2,619	千円	
	その他の職員		0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円	
	人件費合計 (b)		0.30	人	2,595	千円	0.30	人	2,619	千円	
トータルコスト (a)+(b)					3,461	千円			3,452	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義			市民	単位			市民	単位	
		対象数			101,635	人			102,037	人	
	総事業費 / 対象数				34	円			34	円	

評価 (Check)へ

評 価 (Check)

<p>進捗状況 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>ポイ捨て等防止パトロールや看板設置などの施策の実施により、不法投棄物の回収量は減少しています。</p>
<p>実施水準 〔選択・記入〕</p>	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	<p align="center">—</p>	<p>他都市事業内容等</p>	<p>ポイ捨て行為などに対する罰則規定の有無など、条例の位置付けが一定でないことから、比較することが困難です。</p>
<p>有効性 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>年間4期に分け地域内のポイ捨て等防止パトロールを行うことで、地域内の問題個所をきめ細かく把握することができ、また、ポイ捨て環境の改善を図ることもできました。</p>
<p>効率性 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>不法投棄や不適持出など悪質な事案に対しては、行政による個別指導が引き続き必要となりますが、衛生委員(廃棄物減量等推進員)の地域内での啓発活動の成果により着実に環境改善が図られています。</p>


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)

<p>事業推進上の課題</p>	<p>地域の生活環境の維持・改善に向けては、ポイ捨て防止活動や地域での啓発活動などを継続的に実施する必要があります。それぞれの地域における課題を着実に把握し、改善を図ることで、課題の拡大や発生を未然に防いでいく必要があります。</p>
<p>次年度以降の取組の方向性</p>	<p>ポイ捨て等防止パトロールを全市域一斉に実施していくことで、市民の環境改善に対する意識を高めるとともに、不適持出や不法投棄など悪質な事案に対しては、個別指導など厳格な対応を進めます。また、集積所や不法投棄発生個所において、監視カメラ等を設置し、抑止効果などの検証を行っていきます。</p>
<p>所管部長による総評</p>	<p>良好な生活環境を維持するためには、市民や事業者など、本市に関わるすべての利害関係者の美化意識の醸成が必要です。このため、地域における衛生委員(廃棄物等減量推進員)による、啓発活動やポイ捨て等防止パトロールなどの継続的な実施は、ますます重要になります。また、悪質な事案に対する行政の厳格な対応によって、抑止効果を高めていく必要もあります。</p>